

日本「銅」

sochi.ru®
2014

ジャンプ団体 4大会ぶりメダル



ジャンプ団体が銅メダルを獲得し、花束を手に喜ぶ(左から)清水礼留飛、竹内択、伊東大貴、葛西紀明=ソチ(共同)

日の丸飛行隊力結集

【ソチ共同】ソチ冬季五輪第11日の17日、ノルディックスキー・ジャンプ男子団体(HS140級、K点125級)で清水礼留飛(雪印メグミルク)・竹内択(北野建設)・伊東大貴(雪印メグミルク)・葛西紀明(土屋ホーム)の日本が銅メダルを獲得した。今大会の日本選手団のメダルは6個目。ドイツが優勝した。

ジャンプ団体で日本が表彰台に立つのは、岡部孝信、斎藤浩哉、原田雅彦、船木和喜で優勝した1998年長野五輪以来4大会ぶり3度目。

日本は15日のラージュヒルで銀メダルを獲得した41歳のエース葛西を中心に、28歳の伊東、26歳の竹内、20歳の清水がしっかりと力を合わせて世界の強豪国に立ち向かい、1回目の3位を守った。

葛西は、94年リレハンメル五輪団体の銀と合わせて通算3個目のメダルを手にした。